



あいさつって素晴らしい！

藤枝市立藤枝中央小学校 校長 新村和彦

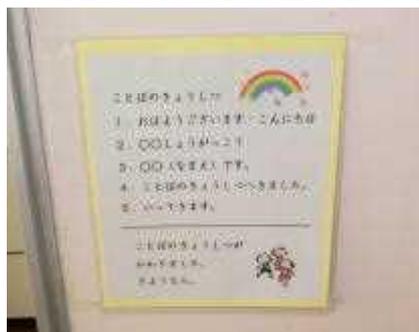
藤枝中央小学校では、あいさつを大切にしています。中央小学校の正門をくぐると、まず最初に目に飛び込んでくるのが、「あいさつは」「いつでも」「どこでも」「だれにでも」という看板の文字です。子どもたちの昇降口にも、「あいさつは」「だ（れにでも）・い（つでも）・じ（ぶんから）」と掲示されています。また、電柱に目を向けると、「おはようは 今日の始まり 元気なまほう」という看板が設置されています。そして、昨年度のPTAのスローガンは、「あいさつは 絆を深める まほうの言葉」でした。



校舎4階から見える藤枝市街

身の回りの環境の中で、あいさつに関する言葉が溢れ、藤枝中央小学校は、あいさつに対する意識が高い学校だと思っています。実際に、朝の登校時には、こちらの顔を見てあいさつをする子や会釈をしてあいさつする子がたくさんいます。中には、満面の笑顔であいさつをする子がいて、朝からとても嬉しい気持ちになり、あいさつのよさを毎朝実感しています。

本校のことばの教室でもあいさつを大切にしています。言葉の教室に通う子は、事務室で必ずあいさつをすることになっています。



事務室前の掲示

- 1 おはようございます。（こんにちは。）
- 2 ○○しょうがっこう
- 3 ○○（なまえ）です。
- 4 ことばのきょうしつへきました。
- 5 いってきます。



ことばのきょうしつがおわりました。さようなら。

もちろん、全員の子どもが、きちんとあいさつできるわけではありません。小さな声であったり、何て言っているのかわからなかったりする子もいます。母親が言った言葉をなぞるように繰り返して言う子もいます。あいさつをしようとしているのですが、恥ずかしくて声にならない子もいます。けれども、どの子からもあいさつをしようという一生懸命さが、伝わってきます。そんな姿を見かけると、必ず子どもに負けないように、大きな声で「いってらっしゃい！」「がんばりました！」「さようなら！」と声をかけるようにしています。ことばの教室に通う子が、あいさつをすることによって、言葉の練習だけではなく、心も育っていくような気がします。あいさつって素晴らしいなと思います。

今日も、子どもたちのあいさつの声を聞いて、校長室から応援をしている毎日なのです。